

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館	■担当係	奉仕係
■評価事業名称	読書推進事業		
■評価事業コード	402100 - 003	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	図書館法第三条・北上市立図書館規則第11条		
■関連計画の名称			
■事業の概要	幼児から一般まで市民の読書の習慣化を涵養する。おはなし会・展示事業・体験「一日図書館司書」・子ども映画会・読書のつどい・図書館ボランティア・図書館資料展と講演・読書ボランティアグループ発表交流会		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	おはなし会 (中・江・和)	乳幼児		年間24回開催 延べ参加者275人
04	展示事業	幼児・児童・一般		文学賞受賞作品展 92人 手づくり絵本展 154人 読書郵便 31人 いわて復興偉人展 95人
07	図書館収蔵資料展と講演会	成人		展示入場者数 413人 講演会入場者 65人 合計 478人
09	体験「一日図書館司書」 (中)	小高		夏・冬計2回開催 体験者10人
13	子ども映画会	小低 幼児		年間19回開催 入場者681人 (中央月1回、江釣子・和賀各夏冬春休み、おひさま保育園)
14	読書のつどい (中)図書館探検隊	小学生 保護者		図書館探検隊 参加者 8人 読書のつどい 参加者 65人

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

15	絵本ふれあいボランティア・書架整理ボランティア	幼児		・読み聞かせ・紙芝居の製作 毎週土・日曜日 31回 延べ59人 ・書架整理 指定日 ・本の修理 第1木曜・第3水曜 116回 延べ208人
20	読書ボランティア発表交流会	読書ボランティアグループ		10月26日(水) 読書ボランティアグループ発表交流会を開催 参加者 52人

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	286	423	248	218	
人件費	9,551	13,145	12,515	7,444	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	9,837	13,568	12,763	7,662	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	事業数	14事業	15事業	14事業	13事業	2010国民読書年に因み、「講演会」や「図書館探検隊」など新たな事業を実施した。
02	開催数	287回	270回	65回	200回	東日本大震災により、中止した事業があった。
03	事業の参加者数	3,106人	3,280人	1,639人	2,208人	各事業の参加者合計
04	1事業当りコスト	702千円	904千円	912千円	589千円	
05	開催数当りコスト	34千円	50千円	196千円	38千円	

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■ 目標達成状況

- A. 順調  
 B. 概ね順調  
 C. 遅れている

### 達成状況の分析

事業の実施が、幼児・児童と図書館を結びつけ、読書活動推進の役割を担っている。

### 問題点・課題等

映画会・おはなし会の参加者が減少している。利用者のニーズが把握されていない。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ  
 特定されるが多数に及ぶ  
 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる  
 ある程度の不利益やリスクが生じる  
 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない  
 類似の事業はあるが競合はない  
 類似の事業があり競合する

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

## 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

## 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

## 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

## 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

## 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

## ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

## 補足説明